

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 積水化成品工業株式会社  
コード番号 4228 URL <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 恵造

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 藤原 敬彦

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 06-6365-3022

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	49,568	0.3	1,933	26.4	1,722	14.3	1,069	56.6
21年3月期第2四半期	49,395	—	1,529	—	1,507	—	682	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	11.25	—
21年3月期第2四半期	6.97	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	95,063	46,301	47.7	477.65
21年3月期	92,553	45,285	48.0	467.38

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 45,387百万円 21年3月期 44,412百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
22年3月期	—	4.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 平成21年3月期期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当2円00銭

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	2.0	4,200	2.0	3,850	△0.8	2,250	6.6	23.68

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	97,976,218株	21年3月期	97,976,218株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,954,166株	21年3月期	2,951,506株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	95,023,235株	21年3月期第2四半期	97,957,908株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表時現在のデータにより、経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。上記の予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、世界的な景気対策の効果や、在庫調整の進展などにより景気持ち直しの動きが見られました。発泡プラスチック業界におきましては、前年度下期に比べて全般的に回復傾向にはあるものの、前年同期と比較すると需要は戻りきっていない状態にあります。

このような経営環境のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、樹脂事業における高機能品の需要回復が第2四半期に入って進んだことに加え、シート事業の事業譲受などによる売上増効果により、売上高は495億6千8百万円（前年同期比0.3%増）となりました。利益面では、退職給付費用の負担増により経費が増加したものの、高機能品の需要回復や原価低減効果などにより、営業利益は19億3千3百万円（前年同期比26.4%増）、経常利益は17億2千2百万円（前年同期比14.3%増）、四半期純利益は10億6千9百万円（前年同期比56.6%増）となり、増収増益になりました。

樹脂事業につきましては、主力の「エスレンビーズ」（発泡性ポリスチレンビーズ）において、関連業界の需要減退による数量減と原料価格に対応した製品価格ダウンの影響により売上は減少しました。「ピオセラン」（ポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体）・「テクポリマー」（有機微粒子ポリマー）など高機能品においては、前年同期からは売上が減少したものの、前年度下期に比べ自動車、デジタル家電など関連業界の需要は回復しました。この結果、樹脂事業の売上高は176億9千万円、営業利益は8億4千9百万円と減収減益になりました。

シート事業につきましては、主力の「エスレンシート」（発泡ポリスチレンシート）は、カップめん容器向けの需要が堅調だったことに加え、事業譲受による効果などにより売上は増加しました。「ライトロン」（無架橋発泡ポリエチレンシート）は、一般包材向けの需要は低調だったものの、デジタル家電部材向け表面保護材の需要回復に伴う採用が増加しました。この結果、シート事業の売上高は255億6千3百万円、営業利益は8億1千3百万円と増収増益になりました。

建材事業につきましては、「エスレンフォーム」（押出發泡ポリスチレンボード）など建材分野において、住宅、ビル建設需要の落ち込みにより売上が減少したものの、合理化効果などにより収益性は改善しました。一方、土木分野においては「EPS土木工法」（軽量盛土工法）などが、大口工事物件が多かったため堅調に推移しました。この結果、建材事業の売上高は37億8千8百万円と減収になりましたが、営業利益は1億7千2百万円と黒字に転換しました。

その他事業につきましては、ファーストフード向け紙容器が顧客の新商品に採用されるなど売上が増加しました。また、ヒーター関連商品やマスク商品などの売上も増加しました。この結果、その他事業の売上高は25億2千5百万円、営業利益は9千1百万円と増収増益になりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、950億6千3百万円（前連結会計年度末比25億9百万円増）となりました。資産の部では、流動資産が受取手形及び売掛金の増加などにより10億4千万円増加し、固定資産は有形固定資産の増加などにより14億6千9百万円増加しました。一方、負債の部では、支払手形及び買掛金の増加などにより流動負債が10億4千7百万円増加し、繰延税金負債の増加などにより固定負債が4億4千6百万円増加しました。純資産は、463億1百万円となり、10億1千5百万円増加しました。自己資本比率は47.7%となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の流動化実施額が増加したことなどにより、前年同期に比べ44億5千7百万円収入が増加し、30億5百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が減少したことなどにより、前年同期に比べ3億3百万円支出が増加し、27億3千6百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入が減少したことなどにより、前年同期に比べ27億8千5百万円支出が増加し、7億1千万円の支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は58億1千7百万円（前連結会計年度末比2億円減）となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績利益が予想利益から増加したため、平成21年10月20日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました業績予想を修正いたしました。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
・表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めていた「貸倒引当金戻入額」は、特別利益の総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。

なお、前第2四半期連結累計期間の特別利益の「その他」に含まれる「貸倒引当金戻入額」は、22百万円です。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,907	6,104
受取手形及び売掛金	27,011	25,106
商品及び製品	5,481	5,981
仕掛品	167	147
原材料及び貯蔵品	1,738	1,856
その他	1,839	1,825
貸倒引当金	△161	△78
流動資産合計	41,984	40,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,290	13,822
機械装置及び運搬具（純額）	9,139	9,230
土地	16,580	15,692
その他（純額）	1,892	2,095
有形固定資産合計	41,903	40,840
無形固定資産		
のれん	187	190
その他	513	569
無形固定資産合計	701	760
投資その他の資産		
その他	10,662	10,224
貸倒引当金	△188	△215
投資その他の資産合計	10,474	10,008
固定資産合計	53,079	51,609
資産合計	95,063	92,553

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成21年9月30日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,794	14,083
短期借入金	8,560	8,651
未払法人税等	675	1,115
賞与引当金	1,003	990
役員賞与引当金	45	116
その他	9,103	8,178
流動負債合計	34,182	33,135
固定負債		
長期借入金	8,500	8,500
退職給付引当金	1,567	1,490
役員退職慰労引当金	65	70
その他	4,445	4,071
固定負債合計	14,579	14,133
負債合計	48,762	47,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	17,924	17,924
利益剰余金	9,775	9,319
自己株式	△908	△907
株主資本合計	43,325	42,869
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,688	1,183
土地再評価差額金	914	914
為替換算調整勘定	△540	△554
評価・換算差額等合計	2,061	1,542
少数株主持分	914	872
純資産合計	46,301	45,285
負債純資産合計	95,063	92,553

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	49,395	49,568
売上原価	39,170	38,173
売上総利益	10,225	11,395
販売費及び一般管理費	8,695	9,461
営業利益	1,529	1,933
営業外収益		
受取利息	10	5
受取配当金	81	62
受取補償金	138	0
その他	91	86
営業外収益合計	322	153
営業外費用		
支払利息	105	118
固定資産除売却損	34	80
為替差損	56	11
持分法による投資損失	7	4
その他	140	150
営業外費用合計	345	364
経常利益	1,507	1,722
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	15
投資有価証券売却益	548	0
その他	34	—
特別利益合計	583	15
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	2
たな卸資産評価損	440	—
その他	34	0
特別損失合計	474	2
税金等調整前四半期純利益	1,615	1,735
法人税、住民税及び事業税	770	639
法人税等調整額	127	4
法人税等合計	897	643
少数株主利益	35	22
四半期純利益	682	1,069

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,615	1,735
減価償却費	1,914	1,840
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24	54
受取利息及び受取配当金	△92	△67
支払利息	105	118
持分法による投資損益 (△は益)	7	4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△386	75
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11	△71
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	13
投資有価証券売却損益 (△は益)	△548	△0
固定資産除売却損益 (△は益)	34	79
たな卸資産評価損	440	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,616	△1,156
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△662	658
仕入債務の増減額 (△は減少)	345	735
その他	△439	67
小計	△1,327	4,088
利息及び配当金の受取額	90	73
利息の支払額	△58	△106
保険金の受取額	6	27
法人税等の支払額	△163	△1,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,452	3,005
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1	△0
定期預金の払戻による収入	1	—
有形固定資産の取得による支出	△2,346	△1,936
有形固定資産の売却による収入	5	0
投資有価証券の取得による支出	△460	△501
投資有価証券の売却による収入	789	18
貸付けによる支出	△347	△295
貸付金の回収による収入	16	30
その他	△89	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,433	△2,736
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,491	△103
長期借入れによる収入	1,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,500	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△392	△569
少数株主への配当金の支払額	△9	△7
その他	△14	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,074	△710
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	69
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,871	△371
現金及び現金同等物の期首残高	5,523	6,018
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	124	170
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,776	5,817

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	樹脂事業 (百万円)	シート事業 (百万円)	建材事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	22,131	21,097	4,066	2,100	49,395	—	49,395
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	622	88	425	144	1,281	(1,281)	—
計	22,754	21,185	4,492	2,244	50,677	(1,281)	49,395
営業利益又は営業損失(△)	1,138	479	△98	10	1,530	△0	1,529

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	樹脂事業 (百万円)	シート事業 (百万円)	建材事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,690	25,563	3,788	2,525	49,568	—	49,568
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	557	130	429	122	1,240	(1,240)	—
計	18,247	25,694	4,218	2,648	50,808	(1,240)	49,568
営業利益	849	813	172	91	1,927	5	1,933

(注) 1. 事業区分の方法

製造方法に市場性を加味した事業に区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品の名称

- ・樹脂事業 — エスレンビーズ、ピオセララン、テクポリマー、テクノゲル、自動車関連資材、産業包装材、その他樹脂関連商品
- ・シート事業 — エスレンシート、ラミネート、エスレンウッド、ライトロン、その他シート関連商品
- ・建材事業 — エスレンフォーム、エスレンネダマット、ティエスサンド、エスレンボイド、エスレンブロック（EPS土木工法）、TYKフォーム、その他建材関連商品
- ・その他事業 — 物流資材関連商品、パルプ容器関連商品、その他商品

b. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める本国の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める本国の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	4,525	1,250	5,775
II 連結売上高（百万円）			49,395
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.2	2.5	11.7

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	3,151	610	3,762
II 連結売上高（百万円）			49,568
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	6.4	1.2	7.6

（注）1. 国又は地域の区分の方法は、おおむね地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

[アジア]・・・中国、マレーシア、タイ

[その他]・・・オーストラリア、アメリカ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。